

法蔵館書店ニュース11月

目次

話題の本	P1
法蔵館新刊案内	P2~3
法蔵館重版案内	P4
法蔵館刊行予定案内	P4~5
法蔵館書店新着案内	P5~15

特集1:法蔵館文庫創刊3周年	P16~18
お知らせ	P19
法蔵館書店ベスト10	
メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 11、12月の書店休業日

11月のお休み:6日・13日・20日 ※27(日)は営業いたします。

12月のお休み:4日・11日・18日・25日 年末年始のお休み:
30日(金)~1/4日(水)まで。

話題の本

- 西日本新聞(2022/10/15)
- 北海道新聞[朝刊](2022/9/25)

法蔵館文庫

『ラジオの戦争責任』

坂本慎一著・文庫判・272頁・990円(2636)

- 日本海、●長崎、●佐賀新聞(2022/10/9)
- 京都新聞(2022/10/8)●東奥日報(2022/10/5)
- 下野、●熊本日日新聞(2022/10/2)
- 中外日報(2022/9/16)

『宗教の行方—現代のための宗教十二講』

八木誠一著・四六判・382頁・3,520円(1061)

- 図書新聞(2022/10/8)
- 仏教タイムス(2022/9/29)

『綱島梁川の宗教哲学と実践』

【龍谷大学国際社会文化研究所叢書31】

古荘匡義著・A5判・276頁・1,980円(6394)

- 美術新聞 No.1224(2022/10/5)

『中国中古の学術と社会』

古勝隆一著・A5判・406頁・5,500円(7752)

- 國語と國文學(2022/10/1)

『寺院内外伝承差の原理

—縁起通史の試みから』

中前正志著・A5判・557頁・4,400円(7722)

- 南日本新聞(2022/10/1)
- 読売新聞[西部本社版](2022/9/24)
- 朝日新聞[佐賀版](2022/9/11)

『明治維新と神代三陵

—廃仏毀釈・薩摩藩・国家神道』

窪 壮一朗著・四六判・239頁・1,870円(5567)

- 日本思想史学 第54号(2022/9/30)

『親鸞とマルクス主義

—闘争・イデオロギー・普遍性』

2刷

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円(5565)

- 岐阜新聞(2022/9/25)
- 大分合同、●山形新聞(2022/9/11)
- 高知新聞、●東奥日報(2022/9/10)

『梅原猛と仏教の思想』

菅原 潤著・四六判・256頁・1,980円(5570)

法蔵館文庫

◆精神世界のゆくえ——宗教からスピリチュアリティへ【宗教学】

島薮 進著・文庫判・528頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-2641-1

なぜ現代人は「スピリチュアリティ」を求めるのか。宗教や科学に代わる新しい思想を網羅的に分析し、変容する精神文化の実態に迫る。

■目次

- 第1部 グローバルな現象としての精神世界
- 第2部 新靈性運動の体験と生の形
- 第3部 精神世界と知の構造の変容
- 第4部 現代世界のなかの新靈性運動

ためし読み



◆日本人の身体観の歴史

養老孟司著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2642-8

日本の中近世、現代哲学の心身論から西欧の身体観まで論じる。常識をくつがえし、世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。

■目次

- I 自然・人間・社会
- II 現代哲学の身体観
- III 近世の身体観
- IV 中世の身体観 ほか

ためし読み



【哲学／思想】

◆現代語訳 南海寄帰内法伝

——七世紀インド仏教僧伽の日常生活

義浄撰・宮林昭彦、加藤栄司訳・文庫判・784頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-2643-5

7世紀のインドの僧侶は何を食べ、どんな生活をしていたのか。唐の僧・義浄がインドと中国の戒律を比較して記した第一級のインド留学レポ。

■目次

- 義浄三蔵入竺求法行歴図
- 写真 ナーランダー僧院遺跡
- 凡例

巻第一

序章 〔仏教通史—宇宙開闢から唐代まで〕

ためし読み



【仏教】

◆寺、再起動——「ゾンビ寺」からの脱出！

【仏教】

星野 哲著・四六判・158頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8793-1

お寺と社会の間に溝ができ、人々から期待されなくなったのはなぜか？ お寺を取り巻く状況と今後の可能性について切り込んでいく。

■目次

はじめに

第1章 社会とお寺の関係

第2章 人生の終盤を支える

第3章 お寺に足を運んでもらう ほか

ためし読み



◆六十六部日本廻国の研究

【民俗学】

小嶋博巳著・A5判・537頁・13,200円
ISBN:978-4-8318-6272-3

日本の66の国すべてをめぐり歩く日本最大の巡礼、六十六部。その量的最盛期である近世の六十六部を、はじめて研究の俎上にのせる。

■目次

序

第一部 六十六部縁起と頼朝房廻国伝説

第二部 六十六部廻国巡礼と納経所

第三部 廻国供養塔と近世の六十六部

第四部 職業六部の組織性 ほか

ためし読み



ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第19号

◆室町時代の東大寺

【仏教史】

GBS実行委員会編・A4判・120頁・2,200円
ISBN:978-4-8318-0719-9

戦乱や疫病の流行で社会的に不安定だった室町時代の東大寺の実態に言及、先人達がいかにして重大局面を乗り越えてきたのかを解明。

■目次

宿院仏師とその時代—研究の展望—(鈴木喜博)

南北朝・室町期の戒壇院における華嚴学の変容

—論義「果分説否」の検討を中心に—(野呂 靖)

室町時代後期の大仏殿燈油方の活動と燈油田(畠山 聡)

東大寺・興福寺の抗争と室町殿政権(西尾知己)

東大寺戒壇院文安の回禄と復興における縁起

—勤修寺蔵『戒壇受戒縁起』をめぐって—(近本謙介)

ためし読み



法蔵館重版案内

◆中国注疏講義——經書の巻

2刷

【中国学】

古勝隆一著・四六判・264頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7758-1

注釈を利用して古典を読む。その手法を基礎と実践で学ぶ。經書の巻は孝經・論語・周易・尚書・詩・礼記・春秋左氏伝の注釈を読む。

■目次

【基本篇】

第一講 古典

第二講 注釈

第三講 『十三經注疏』の概要

第四講 字 形—文字学

第五講 字 音—音韻学

第六講 字 義—訓詁学

第七講 辞 書

第八講 句読・文法

【読解篇】 ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2022年12月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——お正月を迎える

四衢 亮著・A5判・24頁・124円・ISBN:978-4-8318-1165-3

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白い、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆清水寺 成就院日記 第7巻

清水寺史編纂委員会編・A5判・410頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5157-4

【日本史／仏教】

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の約170年分の公用日記。第7巻は宝暦9～14年までを収録。

◆新装版 観經疏に学ぶ 玄義分1、2

廣瀬 泉著・四六判・①352頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6590-8

【仏教】

②280頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-6591-5

親鸞の思想形成のあとをたどって、開かれた自由な私塾「聞光学舎」において、若き求道者たちとともに読み、考え、語り続けてきた10年余の講義の集大成。

◆POD版 仲野良俊著作集

第14巻 勸衆偈講義Ⅰ／第15巻 勸衆偈講義Ⅱ／別巻 講話集

仲野良俊著・A5判・各8,250円〔分売可〕 第14巻:266頁・ISBN:978-4-8318-9331-4

第15巻:252頁・ISBN:978-4-8318-9332-1／別巻:346頁・ISBN:978-4-8318-9333-8 【仏教】

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に解き明かした仲野教学待望の集大成。

POD版はインターネット書店でのみ購入できます。Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天

◆奇跡 MIRACULOUS MERIT——僕の親鸞

今井亮徳著・四六判・288頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8794-8

【仏教／真宗】

開教使として米国に渡って50年。著者の人生の軌跡は奇跡の連続だった。僧侶、カウンセラーとして、さらに仏教書の英訳を通して得た貴重な体験の記録。

法 蔵 館 書 店 新 着 案 内

◆大悲無倦常照我

——多屋頼俊先生 三十三回忌法要・記念誌

石橋義秀編著・B5判・360頁・3,000円〈松香文庫〉

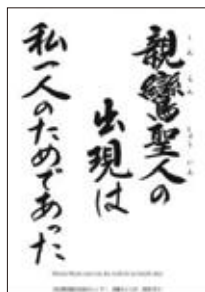
大谷大学名誉教授・国文学者の故・多屋頼俊師の三十三回忌にあたって出版された記念誌。論考・随想や自筆原稿、関係者の追想録など、貴重な記録を多数収録。



◆「真宗教団連合法語カレンダー 2023年版」法語ポスター

本願寺出版社製作・B3判・1,100円〈本願寺出版社〉

2023年版「真宗教団連合法語カレンダー」の法語を拡大してポスターになりました。掲示板等に最適！



真宗文庫

◆親鸞の証明——「正信偈」のころ

寺川俊昭、大河内了悟、廣瀬 晃、一楽典次、宮城 颯、両瀬正雄著
文庫判・403頁・1,320円〈東本願寺出版〉

本書は、真宗門徒にとってもっとも親しまれるおつとめであり、浄土真宗の精髓（エッセンス）が凝縮された親鸞聖人の偈（うた）「正信偈」を、近現代の真宗教学界を牽引した6名の碩学がひととく一冊です。



帰京後の親鸞—明日にともしびを⑥

◆七十六歳の親鸞

——『浄土和讃』と『高僧和讃』

今井雅晴著・B6判・88頁・1,100円〈自照社〉

親鸞聖人の晩年30年に迫るシリーズ《全15冊》の第6冊。聖人が初めて、文字の読めない、仏教学的素養のない人々を念頭に筆を執った『浄土和讃』『高僧和讃』に込められた思いとは。



◆ラジオ法話 親鸞 正信偈

土岐慶正著・四六判・234頁・2,750円〈永田文昌堂〉

本書は、FM「ラジオたかおか」で2018年8月から2022年1月まで放送された、親鸞聖人の「正信偈」の10分間法話に、一部加筆し現代語訳(試訳)を加えたもの。「正信偈」のなかに響いている宝石のような鼓動を、法話として伝える。



◆アミダ・プロジェクト

——人間社会を問い返す最後の根拠

野世信水著・四六判・242頁・2,420円〈永田文昌堂〉

今回のロシアとウクライナの戦争において浮き彫りになった、想像をはるかに超える人間社会の悲しき現実。今必要なことは、自分自身が日々生きる上において、その根拠たるべき思想基盤としての親鸞さんである。この本では、親鸞さんの念仏の真意を明らかにし、アミダ仏の本願を追求する。



◆改訂新版 声明集

川上准玄編・東京歓議会改訂協力・B6判・275頁・3,850円〈永田文昌堂〉

本書は、浄土真宗本願寺派の『声明集』を底本として、故・川上准玄師が編集著作した『声明集』に全面的に振り仮名を施し、その他に若干の修正を加えた改訂版である。本願寺派の声明・作法の練習の参考書として重宝する待望の一冊。



◆生命の足音 38号

大阪教区教化センター編・A5判・346頁・1,650円
〈大阪教区教化センター〉

■目次

巻頭言……禿 信敬

『現代と宗教』講義……和田 稠

現代教学研究班報告……頼尊恒信・長井正純・榊原泰正

「寺院・諸施設のバリアフリー研究Ⅳ―共生社会へのまなざし考―」

教学儀式研究班報告……池田英二郎・高島 章・北島 玄 ほか



◆浄土真宗 あったか年賀状 文例集

浄土真宗本願寺派 安芸教区佐伯奥組編著・林 郁子絵
A5判・51頁・330円〈方丈堂出版〉

近年俗にいう「喪中」ハガキが決まった形ようになってまいりました。寺院からも「年賀欠礼」文が多く届くようになったと感じております。「南無阿弥陀仏」というおみのりをとおして、淋しさの中にも温もりがある。悲しみの中にもいのちの大切な見つめ方がある。そのような輪の広がり、世の中が少しでも温かくなることを願い佐伯奥組連研事務局・門徒スタッフが中心となり作成しました。



◆西山證空上人とその思想

菅田祐準著・A5判・213頁・6,380円〈思文閣出版〉

浄土西山流〈西山派〉の祖、證空上人。その生涯と上人像、宇宙的とも言えるひろやかな思想を、根本史料に基づき、著者の永年の研究と思索によって説き明かす。西山證空上人略年譜等も収録。



◆ブッダの臨終の說法

——完訳 大般涅槃經 3

田上太秀著・四六判・462頁・3,080円〈大法輪閣〉

ブッダが臨終に際して最後の説法をしたとき、なにを言い残したかを記述した仏典「大般涅槃經」の翻訳書。全40巻のうち第21巻から第30巻までを、仏教用語の形に捕らわれず、大胆に現代語訳したものの。



◆中世曹洞宗の地域展開と輪住制

遠藤廣昭著・A5判・471頁・15,400円〈吉川弘文館〉

曹洞宗の地域展開を、中世後期の関東・甲信越を中心に考察するとともに、派祖開山寺院を交代で護持する輪住制を分析し、仕組みや戦国大名との関わりなどを追究。曹洞禅僧・禅寺が地域社会に果たした役割を解き明かす。



◆道元の心の哲学

有福孝岳著・A5判・210頁・3,190円〈晃洋書房〉

心は身を離れてはありえず、身もまた心を離れてはありえない――。

道元が主として「正法眼蔵」において展開した「心」についての諸構想を、様々なテーマを通して解明する。



角川ソフィア文庫H101-7

◆禅と日本文化 新訳完全版

鈴木大拙著・碧海寿広訳・文庫判・694頁・1,540円〈KADOKAWA〉

禅を世界に知らしめた鈴木大拙が、水墨画、剣術、武士道、俳句、茶道といった日本文化の精髓を英語圏の読者に向けて平明に解き明かした代表作。1938年刊行の英書に大幅な加筆修正を施した1959年刊行の原著の改訂のすべてを収めた、はじめての完訳版。



◆禅語を生きる

山川宗玄著・四六判・251頁・2,200円〈春秋社〉

臨済宗随一の高名な禅僧による久々の禅語の入門書！
さまざまな禅語を取り上げ、豊富なエピソードを交えて豊かに解説。人生いかに生きるかのヒントが満載の、ユニークな現代の「禅談」が誕生。



◆[新訳] 禅マインド ビギナーズ・マインド

鈴木俊隆著・藤田一照訳・B6判・348頁・1,540円〈PHP研究所〉

スティーブ・ジョブズが青春時代から「座右の書」とした禅の超入門書を、長年アメリカで禅の指導をしてきた現役僧侶がわかりやすく新訳。座禅の組み方から悟りの世界まで、禅の神髄を平易な言葉で語りつくす。



佛立叢書1

◆日蓮聖人のお心に触れる

——日々に学ぶ大慈悲のお言葉

深澤泉奥編著・四六判・173頁・1,650円〈展転社〉

日蓮聖人御降誕八百年の本年に、本門佛立宗にて佛立新聞編集員として活躍後、佛立青年教務会本部員等を歴任した著者が、日蓮聖人の御妙判（御遺文）を一般の人にむけて分かりやすく解説する。



◆秘密事相——その原理と実践

池口恵観著・四六判・368頁・2,750円〈高野山出版社〉

靈験を誘う真言宗の祈り『加持祈祷』。著者が恩師から受けた指導や自身の経験をもとに、難解と捉えられている『目に見えない世界』や『神秘の力』『密教の秘宝』を正面から紐解き、加持祈祷について解説した決定版。



岩波現代文庫 学術453

◆日本仏教の社会倫理——正法を生きる

島蘭 進著・文庫判・364頁・1,694円〈岩波書店〉

仏教には本来、社会倫理的な実践が大きな要素として備わっていた。現代社会の中で再び顕わになりつつある日本仏教の倫理性・社会性の側面からその実践思想の系譜を捉え直し、宗派主義の枠を超えた新しい日本仏教史像を描く。



◆死者を巡る「想い」の歴史

山本幸司著・四六判・300頁・2,750円〈岩波書店〉

古代・中世を生きた人びとは、人の死をどのように受けとめ、死者をどのような想いで送ってきたのだろうか？ 亡くなっても遠い彼岸に旅立たないで身近にいてほしい、夢でもいいから時には語りかけてほしい。多くの人びとは、そうした想いでいたのではないかと。死と死者を巡る日本人の「想い」を、和歌・物語などを手がかりに探る。



◆近江の土葬・野辺送り

高橋繁行著・B6判・230頁・1,650円〈サンライズ出版〉

近江にはサンマイと呼ばれる土葬墓地が各地に残る。土葬は昭和・平成を境に消滅したが、本書は滋賀県内各地を巡り、地域ごとに特徴のある土葬や野辺送りなど弔いの風習を葬祭研究所を主宰する著者が古老に聴き取った貴重な記録を、自らの切り絵とともに紹介。



◆火葬場奇談

——1万人の遺体を見送った男が語る焼き場の裏側

下駄華緒著・四六判・223頁・1,430円〈竹書房〉

火葬場——あなたも死後必ず連れていかれる場所。しかし、その実態は謎に包まれている。そこで、元火葬場・葬儀屋職員の下駄華緒を水先案内人に、火葬場の隠された真実を明かし、普段見ることのできない火葬場の裏側やダークサイドを白日のもとにさらしていく……。



シリーズ実践仏教Ⅲ

◆儀礼と仏像

倉本尚徳著・船山 徹編・四六判・336頁・3,520円〈臨川書店〉

仏に見(まみ)えるために——仏と人が関係を取り結ぶ儀礼において、仏像は様々な役割を果たしてきた。懺悔、観仏、念仏、誓願……修行者の願望を託された仏像の役割を解説しながら、インドから中国へ、そして現代の日本へと伝わる仏教儀礼の歴史的展開と、その思想的意味を明らかにする。好評シリーズ、ついに完結！



講談社現代新書2677

◆今を生きる思想 ハンナ・アレント

——全体主義という悪夢

牧野雅彦著・新書判・119頁・880円〈講談社〉

人々を分断し、生活基盤を破壊する全体主義。分断が進み、好戦的な科学技術が発展する今日、このディストピアから逃れる方策はあるか。ナチスから逃れ、全体主義という現象に正面から向き合ったハンナ・アレントの思想を解説。



講談社現代新書2676

◆新・哲学入門

竹田青嗣著・新書判・333頁・1,210円〈講談社〉

すべての基礎は欲望である——。

現代思想の行きづまりを打破し、新たな哲学の扉を開く、哲学の入門書。哲学の本質、幻想的身体論、「きれいだ——きたない」審級、芸術美などについて考察する。



◆和解——インナーチャイルドの癒し方

ティク・ナット・ハン著・鈴木ひとみ訳・A5判・221頁・1,760円〈徳間書店〉

内なる子どもを癒し、自分自身とも世界とも、真の友人になるためのマインドフルネスの実践法とは。禅僧ティク・ナット・ハンが、現代人に最も必要な、心を解放し、真の愛へ導くレッスンを紹介する。

『和解』（サンガ版・絶版）の翻訳を改めて見直し、再刊行するものです。



◆仏教は心の悩みにどう答えるのか

坂井祐円編著・四六判・212頁・2,530円〈晃洋書房〉

現代を生きる人々の心の悩みに仏教の智慧はどのように活かせるのか。カウンセリングなど臨床の場で仏教の思想を取り入れ、実践してきた執筆者たちが、自らの体験から、「生きている人の心問題に寄り添う」仏教として新たな可能性を切り拓く。



ヒンドゥークシュ南北歴史考古学叢叢

◆異相ガンダーラの仏教

桑山正進著・B5判・460頁・16,500円〈臨川書店〉

アジアの歴史の鍵鑰であるヒンドゥークシュ山脈南北地方。桑山正進による考古学調査と文献精読の成果を結集する。第I巻は「異相ガンダーラの仏教」。ガンダーラに関する21本の論考を収録。付索引。



◆ジャイナ教聖典選

河崎 豊、藤永 伸編・A5判・559頁・7,700円〈国書刊行会〉

古代インドで仏教と同時期に同地域で誕生し、いまなおインドで続くジャイナ教。本書には、ジャイナ教の二大分派である白衣派の聖典から、【第I篇】には古層文献を、【第II篇】には出家者と在家者との戒律文献を、【第III篇】には初期仏典と共通する伝承から作られたパーエシ王の物語を、【第IV篇】にはジャイナ教の祖師マハーヴィーラの伝記を取めた。



◆徹底図解 世界の宗教 [新版]

島崎 晋著・A5判・191頁・1,980円〈新星出版社〉

世界の宗教をオールカラーで徹底図解。古代宗教の世界、キリスト教、イスラム教、仏教、中国の宗教、日本の宗教に分け、写真やイラストを駆使し、見て、読んでやさしく理解できる内容に。各宗教の歴史から丁寧に解説し、宗教と美術の関係などについても触れている。さらに、サン・ピエトロ大聖堂、カアパ神殿、嘆きの壁、伊勢神宮などの10大神殿を魅力的な写真とともに紹介。



◆改訂新版 統一教会とは何か

有田芳生著・四六判・230頁・1,650円〈大月書店〉

1992年国際合同結婚式騒動からの空白の30年。統一教会と政治の関係はどのように変貌したのか。組織の実態や保守政治勢力との結びつきに鋭く斬りこんだ労作に、新たな書き下ろしを加えて緊急出版する。



怪異の民俗学1

◆憑きもの

小松和彦編・四六判・442頁・3,080円〈河出書房新社〉

憑霊現象とは、何なのか——？

1は「憑きもの」をテーマに、柳田國男「巫女考(抄)」、酒向伸行「平安朝における憑霊現象」など多数の論考を収録。各解題、解説も掲載。



怪異の民俗学2

◆妖怪

小松和彦編・四六判・449頁・3,080円〈河出書房新社〉

妖怪研究は、人間研究である。

2は「妖怪」をテーマに、江馬務「妖怪変化の沿革」、中沢新一「妖怪画と博物学」など多数の論考を収録する。各解題、解説も掲載。



◆金子みすゞ童謡全集

金子みすゞ著・矢崎節夫監修・菊判変判・477頁・3,960円
〈フレーベル館〉

2023年、金子みすゞ生誕120年に先がけ、全512編を1冊に収録して刊行。現在手にとっていただける唯一の金子みすゞの全集です！ みすゞを世に広めた矢崎節夫氏による解説や略年譜も収録。巻末には詩を50音検索できる索引も。



ちくま文庫ち18-1

◆わたしの金子みすゞ

ちばてつや 著・文庫判・103頁・968円〈筑摩書房〉

ちばてつやが、金子みすゞの詩21編をカラーイラストと文章で読み解く。空、風、海、雲、花、祭り、子どもたち、小鳥、虫や魚たち……。満州から日本への引揚げ者だった、ちば自身の幼いころの体験を織りまぜて、忘れかけていた日本の風景や生活を描き出す。人や自然のほんとうの美しさ、素晴らしさを漫画界の巨匠が思いを込めて読者におくる。



◆マンガでわかる日本仏教13宗派

——各宗派の教義・歴史・葬儀スタイルなどが一目瞭然

石田一裕監修・カワモトモカ画・A5判・159頁・1,980円
〈誠文堂新光社〉

日本の仏教には大きく分けて13の宗派があります。宗派はそれぞれ独自の教義をもち、法衣や法具も微妙に違っていたりします。本書では、そんな奥深い13宗派の違いを歴史や教義も含めてマンガで解説。お葬式のマナーなども合わせて紹介するので、日常にも役立つ仏教入門書です。



◆みんなを元気にする10人の住職

『月刊住職』編集部編・四六判・229頁・2,200円〈興山舎〉

寺院住職こそ日本を救うお宝だ！ 生きるのに厳しい世の中になればなるほど、お寺の役割はかけがえのないものになる。それは日本にいる約6万人の住職の、他を慈しむ懸命真摯な営みがあるからに他ならない。その実証の一端がここに満載されている。日本人すべてに読んでほしい！



◆続・坊さん肺ガン日記

岸田緑溪著・四六判・178頁・1,100円〈湘南社〉

自堕落な生活をしていれば、どれだけ自由な時間があっても有意義な活動はできない——。74歳で末期肺ガンが発覚し、医師に「余命はあと2年ほどだろう」と宣告された僧侶が、それからの2年間を雑感とともに綴る。



◆てらふくねこ——家族の縁をつなぐお寺の福猫たち

那須の長楽寺著・石原さくら写真・B5変判・111頁・1,320円
〈KADOKAWA〉

SNSフォロワー数30万人超え、「猫全のせ」で一躍有名になった「那須の長楽寺」の猫写真集第2弾が登場！

第1弾「てらねこ」から子猫2匹が増えて、猫は計6匹に。

ミー子、ひーちゃん、まー君、シロ君、こーちゃん、たーくんが、「那須の長楽寺」で福猫としてしあわせに暮らしている様子を、猫写真家の石原さくらが撮り下ろしています。



◆四国遍路と旅の文化

——近世後期民衆の信心

西 聡子著・菊判・204頁・3,190円〈晃洋書房〉

なぜ、遍路に？ 四国遍路から近世後期の人びとの信心を考察。江戸時代の民衆は、どのような意識に支えられて四国遍路に赴いたのか。阿波国半田村の商人酒井弥蔵と、阿波国で行倒れた多数の行倒れ遍路に着目しつつ、当時の民衆の関心や課題意識にも迫りながら明らかにする。



隔週刊古寺行こう

◆清水寺 15 ◆天龍寺 大覚寺 16

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

清水寺 15……京都屈指の人気の名利を、本格的な紅葉の季節が訪れる前に徹底特集。「清水の舞台」や「音羽の滝」「成就院庭園」といった名スポットや知られざる数々の秘仏を、極上の高精細カラー画像と解説でお届けします！

天龍寺 大覚寺 16……後醍醐天皇に縁が深く南北朝時代の歴史の舞台となった禅刹について、歴史・仏像・建築・障壁画・庭園など様々な観点から徹底解剖。



法 藏 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 11月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 山口 晃さん(画家)
大切なのは、自分ではなく「絵が始まる」感覚。
- ◎特集 踊るカラダ、舞うココロ
・親鸞万華鏡……ゲスト：今村純子さん
・東本願寺界限 今昔物語
……「Toru Cafe」 ほか

◆大乘 11月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭
- ・親徹宗の随縁探訪……ゲスト：後藤明信さん
- ・マンガ お釈迦さま物語「祇園精舎」
……岡橋徹栄×一瀬かおる
- ・教えて！浄土真宗「親鸞聖人と信心正因論」
……藤澤信照 ほか

特集1 法蔵館文庫 創刊3周年

2019年11月に刊行を開始した「法蔵館文庫」は、おかげさまで3周年を迎えました。これまでに40点を刊行、今月には新刊3点(詳しくは2頁をご覧ください。)を発売いたします。今後も皆様に愛される文庫本を刊行してまいりたいと思っております。引き続き「法蔵館文庫」をご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

法蔵館文庫 売上ベスト3



1 仏性とは何か

高崎直道著・下田 正弘解説・320頁・1,320円

一切衆生とは、仏性とは何か。はたして全ての人にほけになれる本性が具わっているのか。仏教を本当に知るための最重要論考。



2 王法と仏法——中世史の構図

黒田俊雄著・平 雅行解説・322頁・1,320円

強靱な論理力と斬新な学説で、「武士中心史観」に基づく中世理解に鋭く修正を迫った黒田史学。その精髓を示す論考を収めた不朽の名著。



3 増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

斎藤英喜著・518頁・1,650円

高知の民間信仰「いざなぎ流」。祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明し、陰陽道、民俗信仰研究の現在をアップデートする。



好評既刊

老年の豊かさについて

キケロ著、八木誠一・八木綾子訳・880円

アマテラスの変貌—— 中世神仏交渉史の視座

佐藤弘夫著・1,320円

正法眼蔵を読む

寺田 透著、林 好雄解説・1,980円

地獄

石田瑞麿著、末木文美士解説・1,320円

折口信夫の戦後天皇論

中村生雄著、三浦佑之解説・1,430円

禅仏教とは何か

秋月龍珉著、竹村牧男解説・1,210円

評伝 J・G・フレイザー 上・下——その生涯と業績	R・アッカーマン著 小松和彦監修、玉井 暉監訳・各1,870円
増補 宗教者ウィトゲンシュタイン	星川啓慈著・1,100円
アニミズム時代	岩田慶治著、松本博之解説・1,320円
信長が見た戦国京都——城塞に囲まれた異貌の都	河内将芳著・990円
宗教とは何か——現代思想から宗教へ	八木誠一著・1,430円
平安人物志 上・下	角田文衛著、山田邦和解説・各1,870円
インド人の論理学——問答法から帰納法へ	桂 紹隆著・1,430円
悟りと解脱——宗教と科学の真理について	玉城康四郎著、丘山 新解説・1,100円
ブッダとサンガ——〈初期仏教〉の原像	三枝充恵著、丸井 浩解説・1,210円
ポストモダンの新宗教——現代日本の精神状況の底流	島藺 進著・1,320円
〈方法〉としての思想史	安丸良夫著、谷川 穰解説・1,430円
英国の仏教発見	フィリップ・C・アーモンド著 奥山倫明訳・1,430円
改訂 祇園祭と戦国京都	河内将芳著・1,100円
儀礼と権力 天皇の明治維新	ジョン・ブリーン著・1,430円
梁の武帝——仏教王朝の悲劇	森 三樹三郎著、船山 徹解説・1,100円
天平芸術の工房	武者小路 穰著、山岸公基解説・1,320円
改訂 歴史のなかに見る親鸞	平 雅行著・1,210円
東洋の合理思想	末木剛博著、野矢茂樹解説・1,320円
増補 菩薩ということ	梶山雄一著、桂 紹隆解説・1,100円
ウィトゲンシュタイン・文法・神	A・キートリー著、星川啓慈訳・1,320円
死と運命	金谷 治著、中嶋隆藏解説・1,210円
劉裕——江南の英雄 宋の武帝	吉川忠夫著・1,100円
一遍語録を読む	金井清光・梅谷繁樹著 長澤昌幸解説・1,320円
祭祀と供犠——日本人の自然観・動物観	中村生雄著、赤坂憲雄解説・1,650円
ラジオの戦争責任	坂本慎一著・990円
明治維新と宗教	羽賀祥二著・1,980円
禅と自然	唐木順三著 寺田 透、飯島孝良解説・1,210円
無神論	久松真一著 星野元豊、水野友晴解説・1,100円
聖武天皇——「天平の皇帝」とその時代	瀧浪貞子著・1,430円

法蔵館書店にて

文庫3周年記念フェア開催!

11月10日(木)から

「法蔵館文庫」創刊3周年を記念し、オリジナルグッズを進呈いたします。

法蔵館文庫を2点以上お買上げの方に、法蔵館オリジナル「クリアファイル」もしくは「マスキングテープ」のいずれかをプレゼント!

数に限りがございますので、お早めどうぞ!



書籍のためし読みはこちら▶▶▶



今後も文庫関連の企画を予定しております。
詳細につきましては、随時Facebook・Twitterなどでお知らせいたします。

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ：「生死の苦海を渡る——生誕850年記念 親鸞聖人に聞く」

第4回
リモート可

11月26日(土)「比較思想から見た親鸞聖人」

〈京都テルサ(京都市営地下鉄烏丸線九条駅九条4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168〉

相愛大学学長 釈 徹宗氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722 Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

法蔵館

開催
予定

秋

期間…11月25日(金)～27日(日)
時間…10:00～17:00(最終日は16時まで)
場所…法蔵館

秋の本まつり

今後の詳細情報は営業部Twitter、facebook等のSNSにて発信いたします。

祝
受賞!

■第16回 日本思想史学会奨励賞 受賞

近藤俊太郎先生

『親鸞とマルクス主義——闘争・イデオロギー・普遍性』

A5判・544頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5565-7

2刷



■第31回 2022年度 山岳修験学会 学会賞 受賞

徳永誓子先生

『憑霊信仰と日本中世社会』 岡山大学文学部叢書1

A5判・296頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6071-2



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(10月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	地獄と浄土、どちらへ行きたいですか?——私が私から解放される世界	瓜生 崇	サンガ伝道叢書	550円
2	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典 (3刷)	田代俊孝	法藏館	3,300円
3	親鸞聖人と報恩講	名古屋御坊編集部	真宗大谷派名古屋別院	800円
4	親鸞に聞く 大無量寿經の意IV	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
5	中国注疏講義——經書の巻 (2刷)	古勝隆一	法藏館	1,980円
6	浄土真宗あったか年賀状 文例集	浄土真宗本願寺派 安芸教区佐伯奥組	方丈堂出版	330円
7	マンガでわかる日本仏教13宗派——各宗派の教義・歴史・葬儀スタイルなどが一目瞭然	石田一裕 カワモトモカ	誠文堂新光社	1,980円
8	なぜ人はカルトに惹かれるのか——脱会支援の現場から (3刷)	瓜生 崇	法藏館	1,760円
9	七十六歳の親鸞——『浄土和讃』と『高僧和讃』	今井雅晴	自照社	1,100円
10	2022年安居本講『親鸞聖人伝絵』考察	東館紹見	東本願寺出版	4,400円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック 





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



——〔営業日および営業時間〕——

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!